

取扱説明書

コード調整型 フランジ

保管用



yamada

LEDペンダント

(天井付け専用型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

安全に関するご注意

この取扱説明書には取り付け方や交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。

この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

器具（簡易取り付け型、ダクトレール用、プラグ付きを除く）及び配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	タイプ	適合ランプ	適合電圧	消費電力
PD-2690-L	ダクトタイプ	東芝製 E17 LDA5L-G-E17/S/40W ×1灯（電球色相当）	AC100V (±6%)	5.2W
PD-2691-L	引掛けシーリング			

この取扱説明書のマークについて

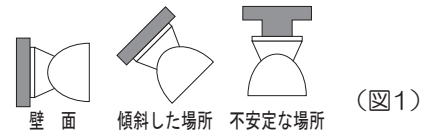
⚠ 警告 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。

⚠ 注意 説明書中の「注意」は、物損及び傷害事故の原因となる危険を示します。

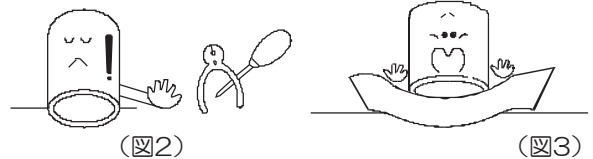
取り付け・取り扱い上の注意

⚠ 警告

- ❗ LEDランプを長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。
- ⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿度の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
- ⊘ 次のような場所には取り付けないでください。(図1)
●ライティングダクトが付いている天井面・壁面以外の場所。
- ❗ この器具は、ライティングダクト取り付け専用です。
天井面の丈夫なところに取り付けてください。傾斜天井・壁面等には取り付けないでください。
★指定以外の取り付けを行うと、器具落下によるけがの原因となります。
- ⊘ ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。
- ⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。(図2)
★火災や感電事故の原因となります。
- ⊘ 器具を布などで覆わないでください。(図3)
★過熱して、発煙や発火の原因となります。



(図1)

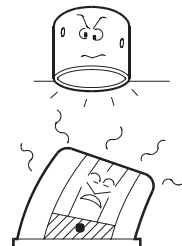


(図2)

(図3)

⚠ 注意

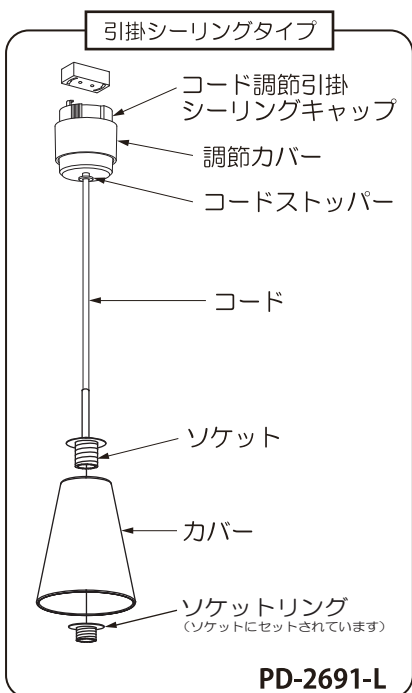
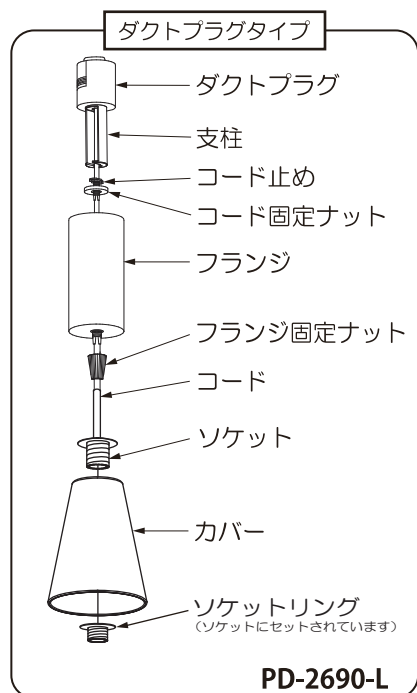
- ❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となります。
- ⊘ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
- ❗ 必ず指定されたLEDランプを使用してください。
★不適合なLEDランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
- ❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、ランプ寿命の短縮の原因となります。
- ⊘ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。
- ⊘ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。
- ⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。



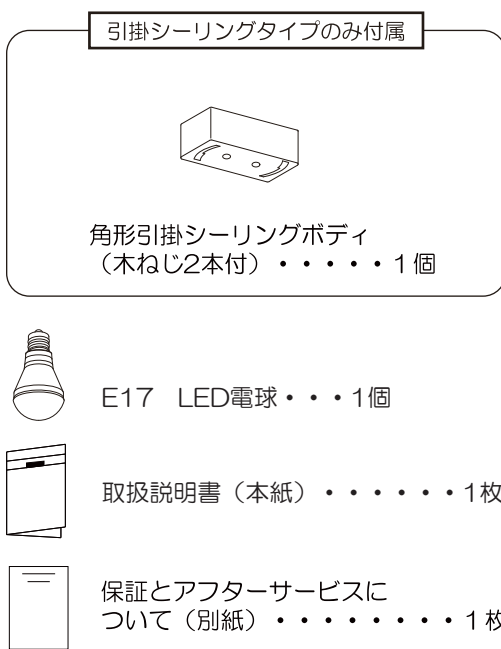
各部の名称

(説明図は、一部省略抽象化した図です)
(不足している部品などがあった場合は、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください)

【器具構成図】



【付属品】



取り付けかた

注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

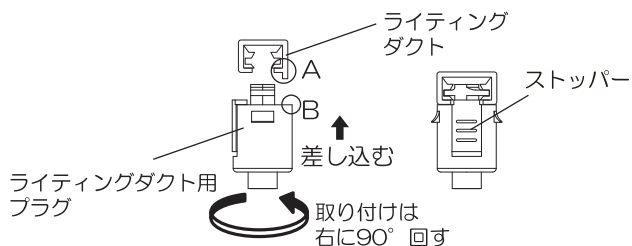
警告 器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具落下によるけがや火災、感電事故の原因となることがあります。

ダクトプラグタイプ

1. 器具を取り付けます。

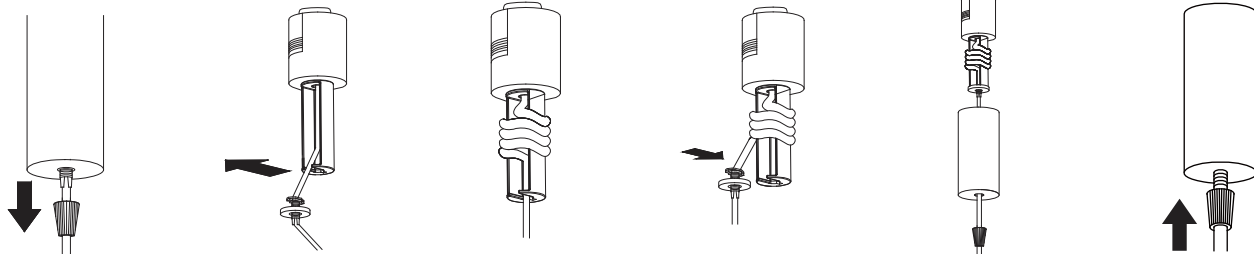
- A・Bの凸凹に合わせてライティングダクト用プラグをライティングダクトへ差し込み、プラグを右へ90°回して取り付けます。この時、ストッパーがライティングダクトに確実にハマっていることを確認してください。
- ライティングダクトとの組み合わせにより点灯しづらい場合は、照明器具の取付位置をずらしてご使用ください。

ダクトプラグをはさず際は、ストッパーを指で押し下げながら、左に90°回転させてください。



2. 器具の高さを調整します。

(コード長さの調節可能範囲：700mm)



①フランジ固定ナットを緩め、フランジ固定ナットと、フランジを静かに本体まで下ろします。

②コード固定ナットを緩め、コード止めとコードを切りかきからはずし、静かに下ろします。

③お好みの長さになるまで支柱にコードを巻きつけます。(調節可能範囲：700mm)

④コードとコード止めを支柱の切りかきにはめ込み、コード固定ナットを締めこんで固定します。

⑤フランジの孔をコード止めに合わせ入れフランジ固定ナットで締め込みフランジを固定します。

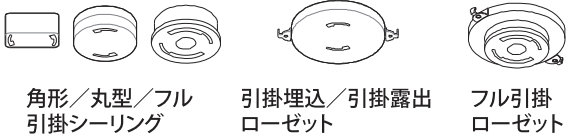
※微調整をする場合はフランジ固定ナットを緩め、コードを押し上げてください。

3. (裏面)へ

引掛シーリングタイプ

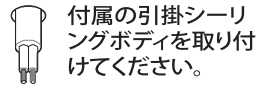
取り付け場所の確認

すぐ取り付けられます

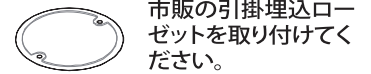


配線器具の取付工事が必要です

配線だけの場合



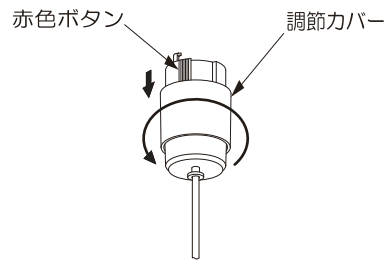
アウトレットボックスの場合



- 警告** 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。
- 注意** 建物の構造によっては、付属の木ねじでは取り付けられないことがあります。
 そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ねじにて取り付けてください。

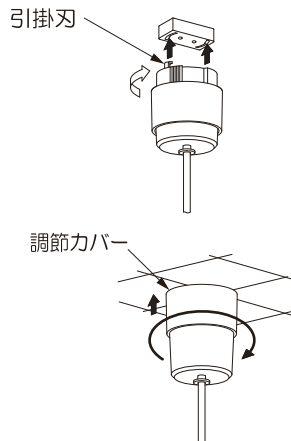
器具を取り付ける前に

- コード調節引掛シーリングキャップの調節カバーを左に回して赤色のボタンが完全に見えるまで下げてください。



1. 器具を取り付けます。

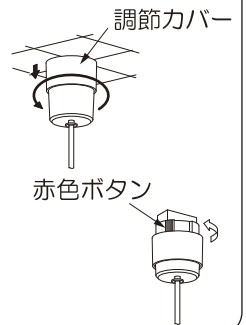
- ①コード調節引掛シーリングキャップの2本の引掛刃を引掛シーリングボディに挿入し、カチッと音がするまで右へ回してください。
- ②コード調節引掛シーリングキャップの調節カバーが天井面、または配線器具にあたるまで時計方向に回してください。



※ローゼットタイプの配線器具の場合は、配線器具を調節カバー内に収納できません。

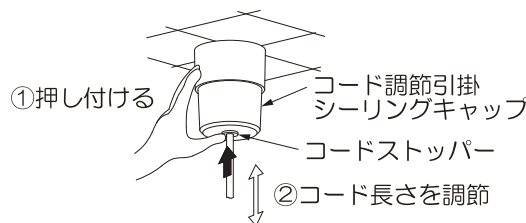
引掛シーリングキャップのはずし方

- ①器具を天井から取り外す場合は、コード調節引掛シーリングキャップの調節カバーを左に回して、赤色のボタンが完全に見えるまで下げてください。
- ②赤色のボタンを押しながらコード調節引掛シーリングキャップを左に回してはずしてください。

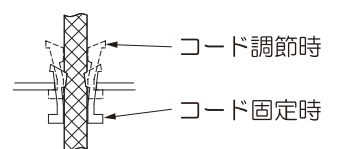


2. 器具の高さを調整します。

- ①コードストッパーをコード調節引掛シーリングキャップ側に押し付けながらコード長さを調節します。(調節可能範囲：700mm)
- ②調節が終わりましたら、コードを下側に引きコードストッパーで固定されているか確認してください。



コードストッパーの位置



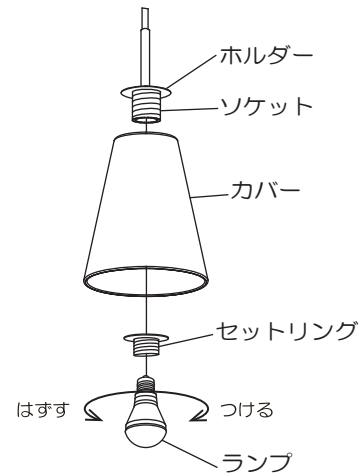
- 注意** 全長500mm以下では使用しないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となることがあります。

3. (裏面)へ

3. カバーをセットします。

- カバーをホルダーに合わせ、セットします。
- セッティングリングをソケットのネジ部にねじ込み固定します。

- △注意**
- カバーは確実に固定してください。
 - ヒビの入ったカバーや、一部欠けているカバーは使用しないでください。ただちに新しいカバーと交換してください。
- ★カバーの破損、落下事故の原因となります。



4. ランプをセットします。

- カバーの開口部から手を差し入れてランプをソケットにねじ込みます。

- △注意**
- ランプは乱暴に扱わないで下さい。
- ★ランプ割れ等の事故の原因となります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて

△注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具やLEDランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
- ランプ交換について：器具にあったワット数のランプをお求めください。
- 1年に1回はお手入れを行い、異常がないか点検してください。また3年に1回は専門業者、有資格者による点検を依頼してください。★点検を行わずに長時間使用し続けると、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。

△注意

- ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。★感電事故の原因となります。
- スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- ランプは乱暴に扱わないでください。★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
- 適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。
- ダクトプラグ周りのゴミやホコリは、乾いた柔らかい布でよく拭いて取り除いてください。★火災や感電事故の原因となることがあります。



■お手入れのしかた

1. 電源を切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。

ランプの交換

1. スイッチを切ります。
2. カバーの下から手を差し入れてランプを交換します。

- △注意**
- カバーは乱暴に取り扱わないでください。★カバー割れによる「けが」の原因となることがあります。
 - カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
- ★カバーの破損、落下の原因となります。

